

裾野麗峰山の会

2015・冬山合宿報告書

後藤

日時 2015. 12. 27 (日) ~ 30 (水)
コース 駒ヶ岳神社~大岩山~烏帽子山~六合石室~駒ヶ岳~黒戸尾根
参加者 L後藤隆徳 (68)、梅田益夫 (67)、掛橋智美 (45)

27日 下土狩発13:30。神社駐車場着15:40。トイレ下広場に幕営。装備点検。全体的に荷物が多い。共同装備は、後藤=ガス一式・ツェルトで16Kg。梅田=ガス一式・ツェルト・ザイルで20Kg。掛橋=トン汁一式・コッヘルで19Kg。掛橋の個人装備が重いので減らす。この時、手袋が入っていた。

28日 (快晴)

ヘッドランプで5:30発。天気はイイ。大岩山着12:13。この時点で計画より約2H遅れ。ピッチは上がらない。大岩山を下り烏帽子山目指す。ラッセルが深い。夕闇が迫る。掛橋のピッチが上がらない。

何としてでも明るいうちに縦走路に出たい。烏帽子頂上から、ピッチの上から掛橋を迎えに行く。ヘッドランプでようやく、三ツ頭の縦走路着。石室を目指す。ルートが分かり難い。18:45、ビバークを決定。結局、この日の行動時間は、13時間15分だった。夜はモーレツな風が吹いた。

29日 (朝ガス・強風、午後晴)

6:30起床。まあまあのビバークだった。7:45発。六合石室は15分の所だった。雪は無いがモーレツな風を右から受けて11:19駒ヶ岳登頂。すぐ下山。黒戸九合オットセイ岩で休憩。この時、初めて掛橋から指の凍傷を告げられた。凍傷は2度状態で白蟻化していた。また、梅田は右目が視力低下で十分歩けない。これはゴーグルをしていなかったため。他、鼻からツララが下がり、下くちびるが倍位に腫れていた。

13:05七丈小屋着。皆疲れている上、梅田が十分歩けないので、ここに泊まる。掛橋の指はまだ水泡は出ていなかった。何回もお湯に漬ける。

30日 (快晴)

朝、掛橋の指は悲惨な状態だった。水泡で指は倍になっていた。ピッケルは持てず、自分で何も出来ないので、黒戸の下山は難しい。小屋番にも相談し、ヘリ救助を依頼。ただ、警察・防災の連絡が悪くなかなか事が進まない。それでもようやく、9時ころ飛来が決まった。掛橋はハーネスを装着して準備。我々は、掛橋の荷物を分担して下山。13:22、神社駐車場着。掛橋は、山梨中央病院に搬送され入院。しばらく加療することになった。



28日、夕闇迫る甲斐駒



28日、ビバーク地



救助ヘリ

以上